

令和六年度 第二学年 三学期 学年末考査 国語 予想問題 正答

- 問 1 1 ①せきねゆか ②おかす ③いもの ④かじゅう
 ⑤いりまめ ⑥たきぎ ⑦あみ
- 2 ①拙い ②堆積 ③諮る ④藻
 ⑤漆 ⑥傷痕 ⑦示唆
- 問 2 1 (1)エ (2)ア (3)ウ (4)イ
- 2 (1)ウ (2)エ (3)オ (4)カ
- 3 (1)①可能 ②推量 (2)ウ
- 問 3 1 (1)イ (2)カ (3)ウ (4)ケ (5)キ
- 2 散らしどり
- 問 4 1 イ
- 2 (例)筆順が省略される
- 問 5 1 (1)以て善の小なるを為さざることなかれ(2)百聞は一見に如かず
 (3) 我の明君に遇はざるを知る
- 2 (1)五言絶句 (2)①夜来風雨 ②永年の知恵で自然に定まったもの
 (3)処々聞啼鳥
- 3 (1)①李白 ②七言絶句 (2)①旧友 ②孟浩然
 (3)孟浩然の孤独な姿
 (4)①倒置法 ②別離の悲しみは尽きずに漂う
- 4 (1)国破山河在と城春草木深、感時花濺涙と恨別鳥驚心
 烽火連三月と家書抵万金
 (2)人間 自然
 (3)戦争の渦中で、家族からの手紙はあまり届かないため。
 (4)虚しく年老いるばかりの自分を嘆く思い。 (5)ウ
- 問 6 1 (1)鎌倉時代 (2)方丈記 (3)①心に移りゆくよしなし事
 ②妙に心騒ぎがする (4)無常観
- 2 (1)①いわしみず ②こうら ③あいて
 (2)そも、まいりたる人ごとに山へ登りしは、何事か (3)a
 (4)ウ

3 (1) このぐらいの高さなら飛び降りることもできるのになぜ注意するのか。

(2) 油断大敵

4 (例) 序段では、兼好法師が無為に過ごす時間の大切さを強調し、世俗の虚しさを感じている。

仁和寺の段では、法師が地位と裏腹に、道を間違えてしまう一面が書かれている。

高名の木登りでは、薫陶で該博な知識が得られることが示唆されている。

これらのことから、兼好法師は世俗の無常を感じ、無欲で静かな生活を選んだと考えられる。

問7 (1) (例) 誰がモアイを作ったのか。

どうモアイ像を運搬したか。

なぜモアイ像は作られなくなったか。

モアイを作った文明はどうなったのか。

(2) 墓の中の化石人骨の分析、ヒョウタンなどの栽培作物の分析。

(3) (例) モアイを作るのに適したやわらかい凝灰岩が露出していたから。

(4) ア

(5) (例) 人間が移住する前のイースター島がヤシの森におおわれていたこと。

ヤシの森が消滅していったこと。

(6) ア・ウ

(7) 文明を守る生命線

(8) (例) 食料を運べなかった点。

(9) (例) 森が消滅したから。

(10) (例) 森の消滅に伴った食糧不足による生命競争が激しくなったから。

(11) ①では、モアイを作った文明はいったいどうなったのだろうか。

②(例) 他3つの根拠と違い物理的な研究結果から分析し推察しているわけではないから。

③(例) ポリネシア人がその間永住していた。